

当事者・家族・医療者がお互いに理解するために

～現状と未来への展望～

夏苺先生は2015年に全国の当事者・家族から見た「精神科担当者の診療態度」の評価に関するアンケート調査を実施し、7234人から回答がありました。その中の自由記述欄には、当事者・家族の本音が書かれていました。

確固たる原因も治療法もいまだ見つからぬ精神疾患では、担当する医師の態度や言葉が当事者の予後に大きく影響するといわれています。

当事者・家族でなければ分からない、辛さ、悲しみがあります。当事者・家族・精神科医の3つの立場を持っておられる先生に、精神科医療の現状と未来への展望を話して頂きます。先生の新刊書精神科医療の「7つの不思議」も合わせてご覧ください。

日時 2021年10月23日(土)

13:30～16:00(開場13:00)

会場 横浜市健康福祉総合センター4階ホール

横浜市中区桜木町1-1

TEL045-201-8620

講師 夏苺 郁子 氏

児童精神科医 やきつべの径診療所



定員 150名(先着順) 事前申し込み必要(FAX又はメール)

申し込み FAX : 045-548-4836(裏面)

Eメール : ysskr@bloom.ocn.ne.jp

2021年10月16日(土)まで

入場無料

※コロナウイルス感染予防のためマスクの着用、消毒、検温をお願いします。

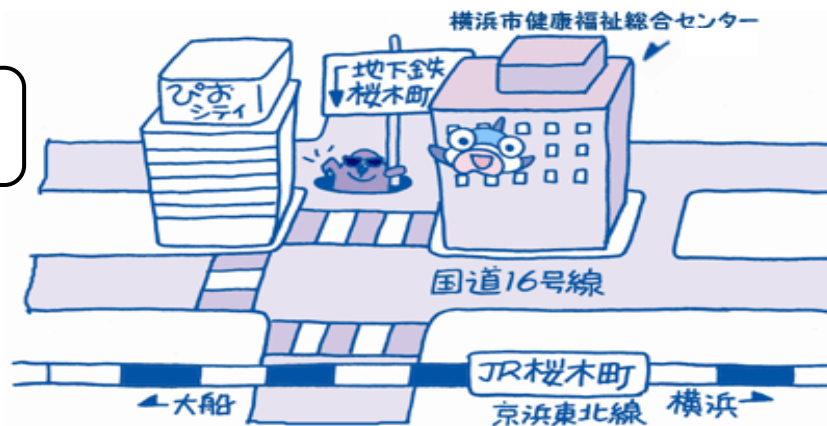
主催 NPO法人横浜市精神障害者家族連合会(はまかれん 浜家連)

問い合わせ: ☎045-548-4816 (担当 中居)

夏苅郁子氏 プロフィール

1954年 北海道生まれ。児童精神科医、医学博士。浜松医科大学医学部精神科助手、共立菊川病院、神経科浜松病院勤務を経て、2000年にやきつべの径診療所を開設。日本精神神経学会専門医、日本精神神経学会代議員、日本児童青年精神医学会認定医など多数の認定医や学会の会員として活躍中。全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）理事。主な著書に「心病む母が残してくれたもの 精神科医の回復への道のり」、「もうひとつの『心病む母が残してくれたもの』 家族の再生の物語」、「人は、人を浴びて人になる 心の病にかかった精神科医の人生をつないでくれた12の出会い」他多数。

会場案内



★JR 京浜東北線 桜木町駅徒歩3分

★横浜市営地下鉄 桜木町駅徒歩3分

—10月23日（土）第3回市民メンタルヘルス講座参加申し込み書—

夏苅郁子氏 「当事者・家族・医療者がお互いに理解するために」

浜家連 FAX : 045-548-4836

浜家連 Eメール : ysskr@bloom.ocn.ne.jp

フリガナ 氏名	
住所	
電話	